

# 子ども食堂への寄贈開始

“食”を通じた社会貢献を目的に、社会福祉法人京都市社会福祉協議会を通じて子ども食堂事業者へ寄贈



冷凍パックの詰め合わせを手渡す社長の谷口（右）



子ども食堂紡ぎ様にて野菜のプレートやカレー（にんじん）などにご活用いただきました。

このたび、箱不良などで返品になり従来は廃棄していた冷凍食材を子ども食堂に寄贈する事業を開始いたしました。今後、月1回のペースで京都市社会福祉協議会を通じて、10～15の事業所に無料提供いたします。

箱の破損などで返品になる冷凍食材を地域で活用してもらおうと、同協議会に相談を持ちかけたところ提供事業が実現いたしました。

10月28日に京都青果センター内の同社本社で第1回贈呈があり、弊社社長の谷口より、12の事業者様にニンジン・ホウレンソウ・パイナップルなどの冷凍パック詰め合わせを手渡しさせていただきました。

社長の谷口は「廃棄していた食材がこのような形で地域のために役立つことは嬉しい」と話しており、今後も食品を取り扱う企業として地域との取り組みや、食品ロスの解決などに貢献していきたいと考えております。